



# MBT NEWS LETTER

第172号  
'22/10/03

## <MBT難病克服キャンペーン>

### 10/1 グランフロントビル群を背景に「MBTうめきた映画劇場」を実施 100人を超える観覧者の皆様に 映画“みんなで守るいのち”で難病患者等の苦境を啓発



↑高層ビル群の夜景を背景にした会場風景

- ・奈良医大とMBTコンソーシアムが主催し、読売新聞社の協力の下で、10月1日(土)の夕方から、星空の下、うめきた2期開発区域に隣接する屋外の芝生広場「うめきた外庭SQUARE」で下表に示すプログラム内容の「MBTうめきた映画劇場」を開催しました。
- ・会場には、100人を超える観覧者が参加、いつもと違う雰囲気映画観覧会場で、難病等のいのちの大切さを一緒に考えるひと時となりました。
- ・会場内には、キャンペーン協賛企業の、やまと真空工業、Bonrich、アイ・オー・データ機器、カルテックの4社が展示ブースをオープン、協賛をPRしました。
- ・申込観覧者には、奈良医大・MBTコンソーシアムと会員企業が共同開発した、コロナ禍に有用な“濃い柿渋のど飴 (UHA味覚糖)”“銅合金蒸着マスク (やまと真空工業)”の2商品を無償配布しました。



・大阪梅田で開催の本催しでもあり近郊の各地域から参加した人も多かったことから、冒頭の開会挨拶で細井裕司理事長(左写真)は、奈良医大が

**MBT活動を始めた背景や現在の活動を紹介、加えて医学知識を基にした産業創生や社会貢献活動を実施するMBTの意義と重要性を説かれました。**

開会の辞	奈良県立医科大学理事・学長 細井裕司	
特別賞 「それでも、洗う」	代表者: 寺谷千穂	強迫性障害を持つ大介は、友人の譲からパフェを食べに行こうと誘われる。いざ店に着くと汚れが気になりパフェを食べるまでに辿りつけない...
優秀賞 「文字盤の先に」	代表者: 木寺智裕	難病ALSにより寝たきりになった夫。仕事をしながら夫を介護する妻。夫婦の物語です。
奈良県立医科大学学生有志作品 「豊かに生きるマニュアル」	代表者: 中前 和	難病患者の「豊かに生きるマニュアルが欲しい」という言葉に衝撃を受け、自分たちにとっても「豊かに生きるマニュアル」とは何かを考え始める。
休憩		
特別講演 「困った腰痛 その原因とセルフチェック」	奈良県立医科大学整形外科講師: 重松英樹	日本整形外科専門医・指導医 脊椎脊髄病学会認定指導医 日本リハビリテーション医学会専門医
特別賞 「パンにジャムをぬること」	代表者: 大塚葉々穂	聴覚障害を持つ友人の「障害者はいつも映画の中で頑張らされている」という言葉からこの映画は生まれました。
最優秀賞 「パリアフルライフ」	代表者: 山村もみ夫。	柴崎若葉は喫茶店で珈琲を飲みたい。ラジオと、差別と、住む世界と、若葉が喫茶店で珈琲を飲むまでのお話。
閉会		

プログラム(時間は前後する可能性あり) ※出入り自由



- ・特別講演では医大が実施の映画劇場にふさわしいテーマとして、奈良医大整形外科講師の重松英樹氏(左写真)は、生涯罹患率84%で国民病ともいわれ参加者にも身近な腰痛を取り上げました。
- ・その中で、急性や慢性腰痛のセルフチェックの方法と原因の紹介、更には癌、感染、骨折でも腰痛になることも紹介し、参加者の注意を喚起しました。

発行

(一般社団法人) MBTコンソーシアム、(公立大学法人) 奈良県立医科大学  
奈良県橿原市四条町840番地研究推進課内 担当 塩山  
TEL: 0744-29-8853 (直通)、FAX: 050-3164-5598、Email: mbt@mbt.or.jp

# 『MBTうめきた映画劇場』スナップ写真

①開会を前に実施関係者の記念写真



②受付で柿渋のど飴と銅合金蒸着マスクを配布。MBT書籍もPR



③司会は奈良医大:武居さん



④開会挨拶で難病克服キャンペーンの趣旨を説明する細井裕司理事長



⑤映画上映開始



⑦協賛企業の展示（上）、キッチンカー（下）が映画祭を盛り上げ



⑥重松医師の腰痛特別講演



原因として

1. 腰部の筋肉

2. 関節

自然軽快が多い。

→ 良好な経過をたどる。

長くても3ヶ月以内に